

第 24 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2008 年 3 月 31 日(月) 15 時 00 分～16 時 40 分

場所: 管理棟 2 階 第一応接室

出席者: 横山部会長、栗野、松田、大町、金子、小山、神戸、小池、山崎、高畑、片山、赤平各委員、
鈴木孝制氏、小室編集局員、斎藤編集補助員

欠席者: 奥山委員

【配布資料】

[資料 24-1] 山形大学工学部百年史編集局ホームページメンバー専用ページへのログイン

[資料 24-2] 百年史編纂経過報告 2 (～08 年 3 月)

[資料 24-3-1] 部局史進捗状況報告 (高分子系 栗野)

[資料 24-3-2] 部局史編纂: 編集方針 (物質化学工学科)

[資料 24-4] 測定装置のリストア

[資料 24-5] 山形大学工学部 100 周年記念誌

I) 連絡事項

1. 山崎委員、横山部会長から総務部会の報告があった。基金の目標は 5 億円、現在 1 億 3 千万円が集まっている。もし目標額に達しない場合でも、記念会館の計画を縮小する可能性はあるが、史誌編纂を削ることは無いことが報告された。
2. 来月の「今月の話題」は片山委員が担当する旨、小室編集局員から依頼があった。
3. 斎藤編集補助員から工学部のトップサイトの 100 周年記念事業からリンクをたどれるようにした事、ならびに百年史編集局ホームページにメンバー専用ページを増設した旨、報告があった。メンバー専用ページからは様々なデータをダウンロードできるようにしてある。

II) 協議事項

1. 百年史

(1) 部局史進捗状況報告

① 機能高分子工学科(栗野委員)

1. 終戦直前に繊維が無くなった事を追加した。
2. 繊維会誌について、重文の中にあるという情報提供があった。
3. 鈴木孝制さんの自己紹介があり、以下の情報が提供された。
 - ・ 色染、紡織がそれぞれ単独で同窓会誌を持った時期があった。
 - ・ 青柳氏(S24 卒)による TEM の原理に関する資料があります。
 - ・ 重文に高分子系の 2 つの部屋があるのは、紡織と色染の 2 つのコースがあったことの名残である。

② 物質化学工学科(高畑委員)

1. 簡易年表に工業短期大学の応用化学科の項目を追加した。
2. 化学系として、創立当時から学科であること、戦時中の化学系学科の役割、戦後の高度成長と化学工学、工短の学科が環境関連の名称に変更、環境と化学系工学科の役割などを話の流れにしたい、との報告があった。

③ 機械システム工学科(大町委員)

1. 目次を作成中である。
2. 執筆者 植松先生、精密工学科を立ち上げた頃の話として、新設 2 学科体制から統合まで書きたい、との報告があった。

④ 電気電子工学科・情報科学科・応用生命システム工学科(金子委員)

1. 12 月の目次案に従い 執筆者の選定を行なっている。
2. 戦後に関しては執筆依頼する方針である。
3. それ以前に関しては今までの年史から拾い上げる作業を行なう。
4. ここで金子委員から「どれくらいのページ数を考えているのか？」との質問があった。それについて議論が行なわれ、**400 字詰原稿用紙 10 枚くらい**を目安とすることが決

まった(参考までに、工業会誌(B5版)は1ページ 2000字くらいである)。

5. 小山委員から執筆依頼(案)として1項目(1執筆者)あたり 2000字くらいの目安で呼びかけたい旨、報告があった。

⑤ 共通講座(小池委員)

1. 高橋眞映先生から菅野先生、中村先生らに依頼する旨報告があった。

⑥ 生体センシング機能工学専攻(神戸委員)

1. 和泉先生が設立を、山口先生が学会を、石井先生が建物について執筆。他、神戸先生、倉本先生、佐藤学先生、羽場先生などに協力をお願い、分担して記述する。これからもう一度執筆依頼を行ないおおよそ、6ページ程度になる予定と報告があった。

(2) 通史編纂報告

- ① [資料 24-2] に基づき、小室編集局員から 2008年3月までの進捗状況について報告と説明があり、またスケジュールの見直しについての解説があった。

(3) 「今月の話題」紹介

- ① 奥山先生の今月の話題「測定装置のリストア」について紹介があった。

2. 100周年記念誌

- (1) [資料 24-5] に基づき、松田J班長、小池委員から第一次成果品ができ上がった旨報告があり、説明があった。

- (2) [資料 24-5] 山形大学工学部 100周年記念誌の赤字は大学からの要望を表わし、青字はぎょうせいからの回答や協議結果を表わす。

- (3) 「キーワード・コンセプト」について、1ページあたり 25項目の6ページと考えると 150項目ほどになる、また、キーワード5項目にひとつくらいで写真を入れたい。従って写真の枚数は30枚ほどになる。

- (4) 「キーワード・コンセプト」の精査・しぼり込み、説明文の作成に関しては全員の協力をお願いしたい旨、松田J班長から要請があった。

- ・ キーワードは機能高分子工学科(栗野委員)10個、機能高分子工学科(鈴木孝制氏)10個、物質化学工学科(高畑委員)10個、機械システム工学科(大町委員・松田委員)20個、電気電子工学科(奥山委員)10個、情報科学科(小山委員)10個、応用生体システム工学科(金子委員)10個、共通講座(小池委員)10個、生体センシング機能工学専攻(神戸委員)10個、米沢工業会(山崎委員、鈴木孝制氏)10個、事務局(赤平委員)5個、事務局(片山委員)10個。21日までに松田J班長まで提出する。

- ・ 写真をキーワード5個につき1枚程度準備していただきたい。

- ・ キーワードについての説明文は7月末までに提出のこと。

- (5) 「100人の声」は思い出集にはせず、小論文集となるように構成したい。そのためこちらでテーマを考える必要があるだろう。良いテーマがあったらご提案いただきたい旨、松田J班長から要請があった。

III) 次回の会議について

- (1) 次回は 2008年4月30日(水) 16:00 ~17:00 事務棟 2階 第一応接室 にて